

令和7年度県民満足度調査
同時調査結果報告書
(人生の最終段階における医療等編)

令和7(2025)年8月
岡山県

目 次

第Ⅰ部 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の方法等	1
3 集計・分析方法	2
4 報告書の見方	2

第Ⅱ部 調査結果

1 あなたご自身について

問1（1）年齢階層及び性別	3
問1（2）世帯構成	3
問1（3）同居の子どもの有無	3
問1（4）子どもの成長段階	4
問1（5）居住地域（県民局）	4
問1（6）居住地域（医療圏域）	4
問1（7）県内での通算居住年数	4
問1（8）職業	5

2 人生の最終段階における医療等について

問16 死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合い	6
問16-1 死が近い場合の医療に関する話し合いをしたことのない理由	8
問17 延命治療の意向	10

第Ⅰ部 調査の概要

1 調査の目的

令和7年度からの県政推進の羅針盤として策定した「第4次晴れの国おかやま生き生きプラン」に掲げる項目に関連した県民満足度と、県施策の重要性についての県民の意向を把握し、今後の施策展開の基礎資料とすることを目的にアンケート調査を行った。

2 調査の方法等

- | | |
|-----------|--------------------------------------------------|
| (1) 調査地域 | 岡山県内市町村 |
| (2) 調査対象者 | 岡山県内市町村在住の18歳以上の男女（令和7年6月1日現在）
3,000人 |
| (3) 調査方法 | 住民基本台帳から無作為抽出して調査票を郵送配布
回収（郵送回答とインターネット回答を併用） |
| (4) 回収結果 | 1,842人（回答率 61.4%） |
| (5) 調査期間 | 令和7年5月28日（水）～6月16日（月） |

3 集計・分析方法

本調査では、回答者の年齢階層の偏りを補正するため、年齢区分ごとの母集団の構成比に合わせてデータに重み付けをするウェイトバック集計を行った。報告書中の値は、ウェイトバック集計後の値を掲載している。

年齢区分	推定母集団		有効回答数		補正值 (①/②)
	人数(人)	構成比(%) ①	人数(人)	構成比(%) ②	
20 代以下	208,647	13.6	185	10.1	1.34731
30 代	192,053	12.5	204	11.1	1.12465
40 代	252,134	16.4	255	13.9	1.18118
50 代	218,862	14.2	316	17.2	0.82739
60 代	228,828	14.9	289	15.7	0.94588
70 代以上	438,054	28.5	589	32.0	0.88846
合計	1,538,578	100.0	1,838	100.0	－

(注 1) 推定母集団は令和 2 年 10 月 1 日現在の国勢調査から算出。

(注 2) 構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

(注 3) 補正值は小数点以下を含んだ各構成比から算出しており、小数点以下第 6 位を四捨五入している。

(注 4) 総回収数 1,842 のうち、年齢についての未回答数は 4。

4 報告書の見方

1. 報告書中の図表では、人数（人）は小数点以下第 1 位を、割合（％）は小数点以下第 2 位を四捨五入している。そのため、人数及び割合の内訳の合計と計（総計）が一致しない場合がある。
2. 回答比率については小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、回答比率が 0.05 未満の場合には 0.0 として扱っている。また、この四捨五入のため、回答比率計がちょうど 100.0 とならない場合がある。
3. 複数回答が可能な項目については、原則として、その項目に対して有効な回答をした者の数を基数として比率算出を行っているため、比率計は 100.0％を超えている。
4. 報告書中の図表では、表記の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

第Ⅱ部 調査結果

1 あなたご自身について

■問1（1）年齢階層及び性別

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答	計
男 性	117 (14.8)	96 (12.1)	129 (16.3)	109 (13.8)	106 (13.4)	233 (29.5)	0 (0.0)	789 (100.0)
女 性	123 (12.1)	130 (12.8)	169 (16.6)	146 (14.3)	165 (16.2)	283 (27.8)	1 (0.1)	1,016 (100.0)
その他・ 答えたくない	8 (45.0)	3 (18.8)	1 (6.6)	2 (13.8)	1 (5.3)	1 (4.9)	1 (5.6)	18 (100.0)
無回答	1 (7.1)	0 (0.0)	2 (12.5)	4 (22.0)	2 (10.0)	7 (37.7)	2 (10.6)	19 (100.0)
計	249 (13.5)	229 (12.5)	301 (16.4)	261 (14.2)	273 (14.8)	523 (28.4)	4 (0.2)	1,842 (100.0)

（注1）「20代以下」は、18～29歳である

<参考>岡山県の年齢別人口構成

単位：（ ）内は%

	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上	計
構成比	(13.6)	(12.5)	(16.4)	(14.2)	(14.9)	(28.5)	(100.0)

（注）上記構成比は、令和2年10月1日現在の国勢調査から算出

■問1（2）世帯構成

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	ひとり暮らし	夫婦のみ	親・子の二世帯	親・子・孫の三世帯	その他	無回答	計
構成比	273 (14.8)	443 (24.1)	902 (49.0)	165 (9.0)	43 (2.3)	15 (0.8)	1,842 (100.0)

<参考>岡山県の家族構成

単位：（ ）内は%

	親族世帯全体(62.8)					非親族世帯	単独世帯	不詳	計
	核家族世帯全体(54.5)				その他の親族世帯				
構成比	夫婦のみの世帯	夫婦と子どもから成る世帯	男親と子どもから成る世帯	女親と子どもから成る世帯					
	(20.3)	(25.3)	(1.3)	(7.5)	(8.3)	(0.8)	(35.6)	(0.8)	(100.0)

（注）上記構成比は、令和2年10月1日現在の国勢調査から算出

■問1（3）同居の子どもの有無

単位：上段は人、下段の（ ）内は%

	子どもがいる	子どもはいない	無回答	計
構成比	725 (39.3)	1,104 (60.0)	13 (0.7)	1,842 (100.0)

■問 1（4）子どもの成長段階

単位：上段は人、下段の（ ）内は％

	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生・大 学受験生	短大、大学、 大学院、 専門学校 などの学生	社会人	その他	無回答	計
構成比	148 (20.5)	181 (24.9)	126 (17.3)	131 (18.1)	71 (9.8)	298 (41.2)	22 (3.1)	0 (0.0)	725 (100.0)

■問 1（5）居住地域（県民局）

単位：上段は人、下段の（ ）内は％

地 域		回答者数	配布者数
備前地域	（岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町）	898 (48.8)	1,437 (47.9)
備中地域	（倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町）	743 (40.3)	1,216 (40.5)
美作地域	（津山市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町）	191 (10.4)	347 (11.6)
無回答		10 (0.5)	
合計		1,842 (100.0)	3,000 (100.0)

■問 1（6）居住地域（医療圏域）

単位：上段は人、下段の（ ）内は％

地 域		回答者数	配布者数
県南東部	（岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町）	898 (48.8)	1,437 (47.9)
県南西部	（倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町）	685 (37.2)	1,127 (37.6)
高梁・新見	（高梁市、新見市）	58 (3.1)	89 (3.0)
真庭	（真庭市、新庄村）	36 (2.0)	72 (2.4)
津山・英田	（津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町）	155 (8.4)	275 (9.2)
無回答		10 (0.5)	
合計		1,842 (100.0)	3,000 (100.0)

■問 1（7）県内での通算居住年数

単位：上段は人、下段の（ ）内は％

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上	無回答	計
構成比	95 (5.2)	65 (3.5)	186 (10.1)	1,480 (80.4)	16 (0.9)	1,842 (100.0)

■問 1 (8) 職業

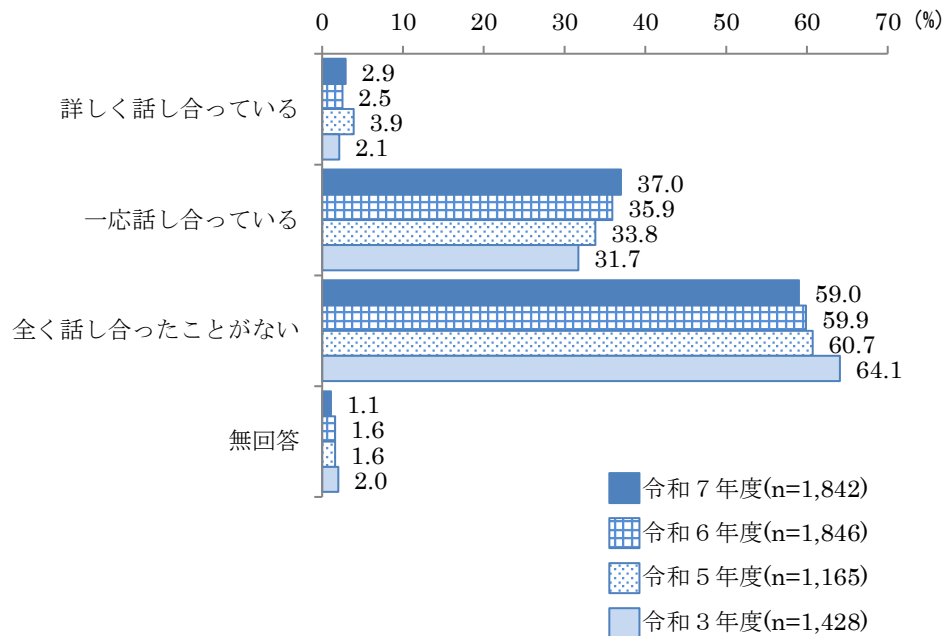
単位：上段は人、下段の()内は%

	自営業※	会社・団体 などの正社員 (正職員)	会社・団体 などの役員	パートタイ マー、アル バイト、契 約社員 など	専業主婦 (主夫)	学生	無職	無回答	計
構成比	126 (7.9)	596 (32.4)	61 (3.3)	330 (17.9)	189 (10.2)	73 (3.9)	428 (23.3)	19 (1.0)	1,842 (100.0)

※農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む

2 人生の最終段階における医療等について

■問 16 あなたは、ご自身の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、ご家族又は医療介護関係者などとのくらい話し合ったことがありますか。あてはまる番号1つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

「詳しく話し合っている」(前年度差 0.4)

「一応話し合っている」(前年度差 1.1)

◆低下

「全く話し合ったことがない」(前年度差 ▲0.9)

【死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合い】

		(%)			
		詳しく話し合っている	一応話し合っている	全く話し合ったことがない	無回答
全体	全体 n= 1,842	2.9	37.0	59.0	1.1
性別	男性 n= 789	2.4	31.8	64.8	1.0
	女性 n= 1,017	3.3	41.1	54.5	1.0
年齢階層	10代 n= 44	3.8	15.4	80.8	0.0
	20代 n= 205	1.9	25.2	71.7	1.3
	30代 n= 229	2.0	25.0	72.1	1.0
	40代 n= 301	3.1	28.6	68.2	0.0
	50代 n= 261	3.5	35.4	60.1	0.9
	60代 n= 273	2.1	47.4	50.2	0.3
	70代以上 n= 523	3.6	49.1	45.3	2.0
世帯構成	ひとり暮らし n= 273	3.4	33.6	60.4	2.6
	夫婦のみ n= 443	2.9	49.6	46.7	0.8
	親・子の二世帯 n= 902	2.3	31.8	65.2	0.7
	親・子・孫の三世帯 n= 166	3.5	38.0	57.9	0.5
	その他 n= 43	6.0	36.0	56.1	1.9
同居の子ども	子どもがいる n= 724	3.2	34.8	61.3	0.7
	子どもはいない n= 1,105	2.7	38.7	57.4	1.2
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 899	3.4	36.6	58.7	1.3
	備中地域 n= 742	2.1	37.1	59.9	0.8
	美作地域 n= 191	3.2	38.8	57.6	0.5
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 899	3.4	36.6	58.7	1.3
	県南西部 n= 685	2.2	37.5	59.4	0.9
	高梁・新見 n= 58	1.5	32.9	65.6	0.0
	真庭 n= 36	11.1	32.6	56.4	0.0
	津山・英田 n= 155	1.3	40.2	57.9	0.6
居住年数	5年未満 n= 95	4.3	30.4	65.2	0.0
	5年以上10年未満 n= 64	1.8	15.6	81.2	1.4
	10年以上20年未満 n= 193	1.6	31.5	66.5	0.4
	20年以上 n= 1,474	3.0	39.0	56.8	1.2
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 146	5.3	33.8	59.4	1.4
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 592	1.8	27.5	70.0	0.7
	会社・団体などの役員 n= 61	3.4	33.2	63.4	0.0
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 330	3.3	40.4	55.7	0.6
	専業主婦(主夫) n= 189	3.5	52.7	43.9	0.0
	学生 n= 78	3.3	26.7	68.3	1.7
	無職 n= 428	2.9	45.1	49.9	2.1

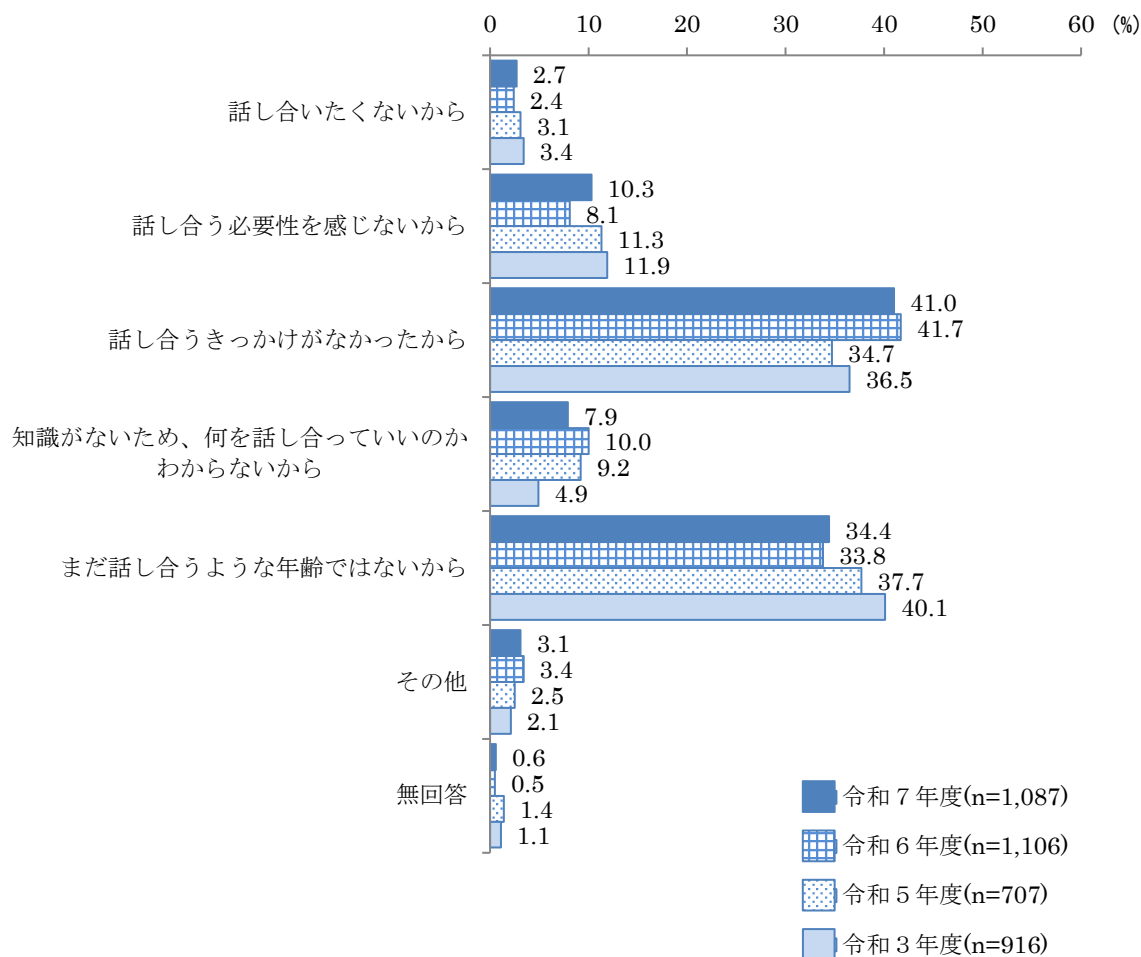
○死が近い場合の医療に関する家族などとの話し合いについて

全体では「全く話し合ったことがない」との回答が約6割となり最も高くなっている。

性別にみると、「一応話し合っている」との回答は女性(41.1%)が男性(31.8%)を9.3ポイント上回っている。「詳しく話し合っている」との回答についても、女性(3.3%)が男性(2.4%)を0.9ポイント上回っている。

年齢階層別にみると、「全く話し合ったことがない」との回答は10代で8割と最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向がみられ、70代以上では「一応話し合っている」(49.1%)が「全く話し合ったことがない」(45.3%)を3.8ポイント上回っている。

- 問 16-1 問 16 で「3. 全く話し合ったことがない」に○印をつけた方におたずねします。
話し合ったことがない理由は何ですか。あてはまる番号 1 つに○印をつけてください。



○前年度との比較

◆上昇

- 「話し合いたくないから」(前年度差 0.3)
- 「話し合う必要性を感じないから」(前年度差 2.2)
- 「まだ話し合うような年齢ではないから」(前年度差 0.6)

◆低下

- 「話し合うきっかけがなかったから」(前年度差 ▲0.7)
- 「知識がないため、何を話し合っているかわからないから」(前年度差 ▲2.1)
- 「その他」(前年度差 ▲0.3)

【死が近い場合の医療に関する話し合いをしたことのない理由】

(%)

		話し合いたくないから	話し合う必要性を感じないから	話し合うきっかけがなかったから	知識がないため、何を話したらいいかわからないから	まだ話し合うような年齢ではないから	その他	無回答
全体	全体 n= 1,087	2.7	10.3	41.0	7.9	34.4	3.1	0.6
性別	男性 n= 511	3.1	13.6	34.6	8.6	35.3	4.7	0.2
	女性 n= 554	2.4	7.2	47.3	7.2	33.2	1.8	1.0
年齢階層	10代 n= 35	4.8	0.0	38.1	4.8	52.4	0.0	0.0
	20代 n= 147	1.8	8.8	24.6	4.4	59.6	0.9	0.0
	30代 n= 165	1.4	4.1	29.9	7.5	55.1	2.0	0.0
	40代 n= 206	1.7	5.2	40.2	12.1	38.5	1.7	0.6
	50代 n= 157	3.2	6.8	47.4	9.5	30.5	2.6	0.0
	60代 n= 137	5.5	12.4	54.5	2.8	20.7	4.1	0.0
	70代以上 n= 237	2.6	22.1	48.3	9.4	8.6	6.7	2.2
世帯構成	ひとり暮らし n= 165	2.2	11.5	42.1	8.4	26.8	8.5	0.5
	夫婦のみ n= 207	2.3	15.6	43.6	8.3	25.0	3.9	1.3
	親・子の二世帯 n= 588	2.6	7.1	40.9	8.8	38.9	1.6	0.2
	親・子・孫の三世帯 n= 96	3.6	14.6	36.9	3.8	39.4	0.9	0.9
	その他 n= 24	7.6	16.4	37.4	0.0	27.3	7.6	3.7
同居の子ども	子どもがいる n= 444	2.0	8.1	40.0	8.0	40.6	0.8	0.5
	子どもはいない n= 634	3.1	11.5	41.7	7.9	30.3	4.8	0.7
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 528	2.5	9.0	42.7	9.2	33.7	2.8	0.2
	備中地域 n= 445	3.1	10.9	39.3	7.0	35.1	3.4	1.1
	美作地域 n= 110	1.6	14.0	39.8	5.9	34.8	3.1	0.8
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 528	2.5	9.0	42.7	9.2	33.7	2.8	0.2
	県南西部 n= 407	3.4	11.3	39.5	7.2	34.5	3.1	0.9
	高梁・新見 n= 38	0.0	7.5	37.0	4.5	42.5	6.1	2.4
	真庭 n= 20	0.0	18.5	36.7	5.6	26.1	8.8	4.4
	津山・英田 n= 90	1.9	13.0	40.5	5.9	36.8	1.8	0.0
居住年数	5年未満 n= 62	1.4	5.0	29.5	10.2	52.5	1.3	0.0
	5年以上10年未満 n= 52	2.5	6.2	30.6	13.5	43.5	3.7	0.0
	10年以上20年未満 n= 128	2.7	7.3	35.3	5.3	46.9	1.6	0.9
	20年以上 n= 838	2.8	11.1	43.6	7.9	30.8	3.3	0.6
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 87	3.1	15.3	43.7	8.8	24.3	4.8	0.0
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 414	2.3	6.5	35.1	8.2	45.4	2.2	0.2
	会社・団体などの役員 n= 39	0.0	23.0	38.3	2.3	34.3	2.1	0.0
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 184	3.4	3.6	40.1	9.0	40.4	2.4	1.1
	専業主婦(主夫) n= 83	3.3	8.6	58.3	4.6	19.7	3.3	2.1
	学生 n= 53	0.0	7.3	34.3	3.2	55.2	0.0	0.0
	無職 n= 213	3.6	19.2	47.4	10.2	12.9	5.9	0.8

○死が近い場合の医療に関する話し合いをしたことのない理由について

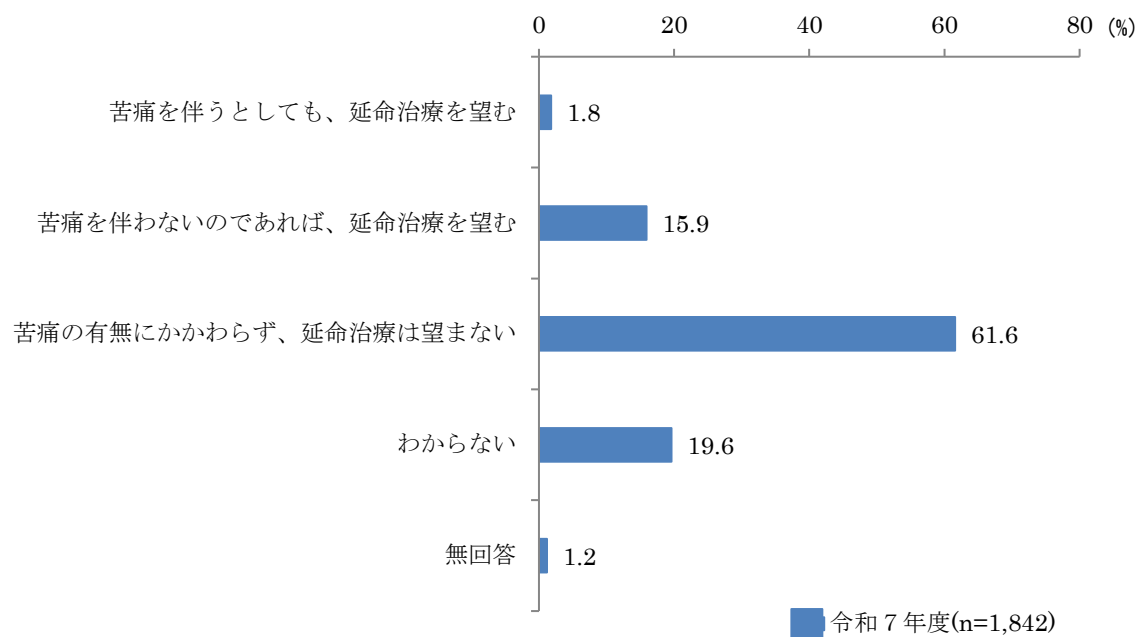
全体では、「話し合うきっかけがなかったから」の回答が4割を超え最も高くなっている。

性別にみると、男性で「まだ話し合うような年齢ではないから」の回答が最も高く、女性では「話し合うきっかけがなかったから」の回答が最も高い。

年齢階層別にみると、10～30代までで「まだ話し合うような年齢ではないから」との回答が高く、40～70代以上では「話し合うきっかけがなかったから」との回答が高くなっている。

職業別にみると、専業主婦(主夫)の「話し合うきっかけがなかったから」との回答が、58.3%と最も高く、会社・団体などの役員では、「話し合う必要性を感じないから」との回答が、23.0%と最も高くなっている。

■問 17 あなたは、ご自身の死が目前に迫っており、どのような治療によっても回復する見込みがない場合に、延命治療を望みますか。あてはまる番号 1 つに○印をつけてください。



【死が目前に迫っている場合の延命治療の意向】

(%)

		も、苦痛を伴うとして延命治療を望む	望むれば、延命治療を	苦痛を伴わない延命治療は望まない	苦痛の有無にかかわらず延命治療は望まない	わからない	無回答
全体	全体 n= 1,842	1.8	15.9	61.6	19.6	1.2	
性別	男性 n= 789	2.4	15.3	60.2	20.8	1.3	
	女性 n= 1,017	1.2	16.5	62.5	18.9	0.8	
年齢階層	10代 n= 44	3.8	26.9	23.1	42.3	3.8	
	20代 n= 205	2.5	22.0	47.2	27.0	1.3	
	30代 n= 229	3.4	20.1	54.9	21.1	0.5	
	40代 n= 301	2.4	23.9	56.1	16.9	0.8	
	50代 n= 261	0.6	13.6	65.2	20.3	0.3	
	60代 n= 273	0.7	13.1	67.8	18.0	0.3	
	70代以上 n= 523	1.4	8.8	71.6	16.3	1.9	
世帯構成	ひとり暮らし n= 273	0.8	14.8	64.1	19.0	1.3	
	夫婦のみ n= 443	1.8	13.0	68.3	15.9	1.0	
	親・子の二世帯 n= 902	2.2	17.5	56.9	22.4	1.1	
	親・子・孫の三世帯 n= 166	1.3	16.7	65.2	16.3	0.5	
同居の子ども	子どもがいる n= 724	2.0	18.1	60.1	18.8	1.0	
	子どもはいない n= 1,105	1.6	14.6	62.5	20.2	1.1	
居住地域① (県民局)	備前地域 n= 899	2.6	15.6	61.6	19.1	1.1	
	備中地域 n= 742	1.1	16.0	60.9	20.8	1.2	
	美作地域 n= 191	0.6	17.7	63.6	17.6	0.5	
居住地域② (医療圏域)	県南東部 n= 899	2.6	15.6	61.6	19.1	1.1	
	県南西部 n= 685	1.1	16.5	60.5	20.7	1.3	
	高梁・新見 n= 58	1.5	10.6	65.8	22.1	0.0	
	真庭 n= 36	0.0	18.0	64.1	17.9	0.0	
	津山・英田 n= 155	0.8	17.6	63.5	17.6	0.6	
居住年数	5年未満 n= 95	2.6	33.1	51.0	13.4	0.0	
	5年以上10年未満 n= 64	7.2	24.9	53.0	13.6	1.4	
	10年以上20年未満 n= 193	1.9	22.3	51.1	23.2	1.5	
	20年以上 n= 1,474	1.5	13.6	64.1	19.7	1.1	
職業	自営業(農林漁業、商工サービス業などで、家族従業者を含む) n= 146	2.0	18.1	55.8	23.4	0.6	
	会社・団体などの正社員(正職員) n= 592	3.4	19.5	57.5	18.8	0.8	
	会社・団体などの役員 n= 61	0.0	12.9	72.6	14.5	0.0	
	パートタイマー、アルバイト、契約社員など n= 330	0.6	16.2	62.0	20.3	0.9	
	専業主婦(主夫) n= 189	1.1	13.3	72.6	13.0	0.0	
	学生 n= 78	0.0	22.9	41.0	34.4	1.7	
	無職 n= 428	1.3	10.5	66.7	19.9	1.7	

○死が目前に迫っている場合の延命治療の意向

全体では、「苦痛の有無にかかわらず、延命治療は望まない」の回答が6割を超え最も高くなっている。

年齢階層別にみると、10代では、「わからない」の回答が4割を超え最も高く、次いで「苦痛を伴わないのであれば、延命治療を望む」の回答が3割弱と高くなっている。一方、20代以上では、「苦痛の有無にかかわらず、延命治療は望まない」の回答が最も高くなっている。

職業別にみると、会社・団体などの役員と専業主婦(主夫)では、「苦痛の有無にかかわらず、延命治療は望まない」の回答が7割を超え最も高くなっている。一方、「苦痛の有無にかかわらず、延命治療は望まない」の回答は学生が最も低く、「わからない」の回答は、学生が最も高くなっている。